

○(南) 瑞峯院〔普応大満国師徹岫宗九和尚塔所、興臨の南に在り。天文二年大友左衛門督義鎮造立、義鎮は大友修理

大夫義鑑よしみなんの男、天正十五年五月廿三日卒、五十八、号瑞峰院休庵きうあん宗麟そうりん。〕

客殿中間 墨画七賢四皓 巢父許由 古法眼筆

礼間 薄彩色花鳥 松榮直信筆

檀那間 彩色堅田かただのづ 土佐光信筆

瑞峰院額 後奈良帝宸筆ごならていしんびつ